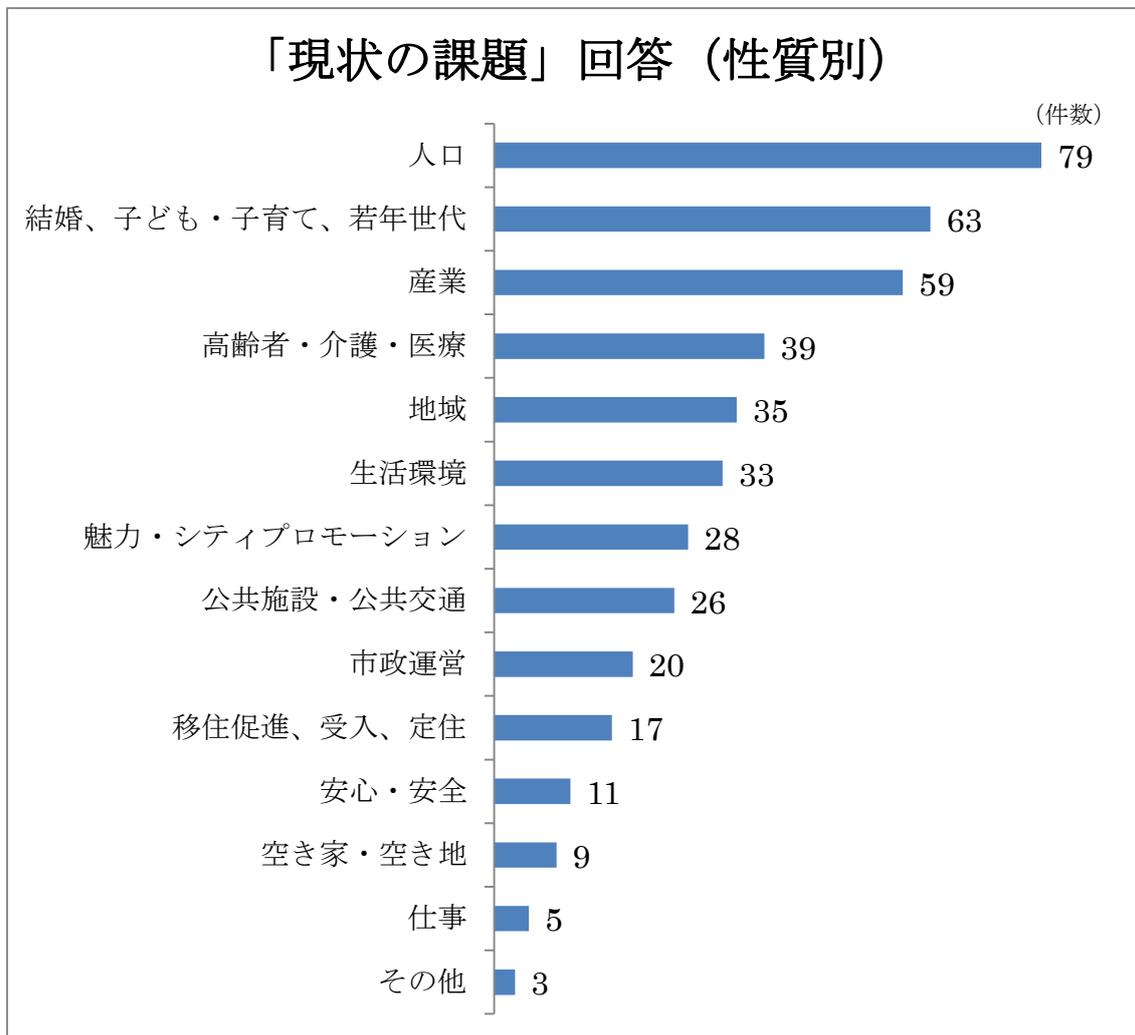


富津市民委員会報告書（案）

2015年 月 日

富津市民委員会

○ 「現状の課題」 性質別とりまとめ（第3～6回委員会）



大きくは 15 項目、具体的な課題は 58 項目に分類された。

「人口が減少していく」「子どもや子育てについてワンストップで相談できる窓口がない」「自治体活動が希薄」など地域自治団体間で抱えている問題や個人として抱える問題に対して幅広く指摘が見受けられた。

また、個別課題については人口や結婚、子ども・子育て、若年世代、産業で約課題として出た意見の約半数を占めている。

内容としては、既に取り組みされている事柄でも地域自治体間で情報の共有ができていないなどの記載が多かった。少し違った方法で広報することで、日常生活で目にする機会も増え、情報を取得することができるからこそ課題として感じ、その中で自分たちが地域で情報を発信することで多くの方に共有できると考えた中での議論であったと思われる。

3. 委員からの改善提案概要

(1) 人口

課題		人口が減少していく。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都に勤めている息子と呼び寄せる。息子達が家庭を持つ時、富津市を選べるようにする。子どもの生活に協力し同居に努める。 ・ できる限り自分は地域に留まり、自分が育った土地を大事にする。 ・ 別荘に時々来る人にも積極的に声をかけて住みやすさをアピールする。 ・ 地元に住んでいる人間として、他県から来た人達に良い場所を教える。 ・ 身近な人に富津の良さを伝える（親族、友人など）。 ・ 減少しても、まわりの顔がよく見えるので挨拶するなど近隣の人達との関係を密にする。 ・ 自然があって便利な所、本当は両方兼ね備えている方が良いが、考え方を変えてその場所の良い所に住むことを考える。 ・ 家のルーツを探す（墓参り、先祖認識を持つ）。 ・ 自分のできる事を日頃から意識する。 ・ 若い人が住みやすい地域になるよう協力する。 ・ 富津市を好きになる。 ・ できるだけ早く結婚する。 ・ 常に問題意識を持つ市民でいる。 ・ 富津市の自然環境の良さや移住するためのコストの安さなどのメリットをアピールし多くの人を富津市へ呼ぶようにする。 ・ 多少お金がかかっても地域の小売店を利用する。 ・ 同窓会などで息子や娘が独身でという人が多いので相手を紹介する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティの役割を強くする。 ・ 子育て交流できる場を作るなどの支援をする。 ・ 地区の良い所をその地域でPRする。 ・ 空き家などもっと貸し出せるよう持ち主に働きか

		<p>ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の活躍の場を設ける。 ・ 地域としてできる事を話し合う場を作る。地域の行事に参加する人を増やす努力をする。 ・ 企業の独身者に富津市をよく知り好きになってもらい、永住したくなる気持ちにする。 ・ 転入者に対して地域で協力する。 ・ 富津市の自治会の役割を全員に知らせる（紙以外の伝達方法）。 ・ 出会いの機会を作る。 ・ 小規模でも子どもから老人まで一緒に運動会をできるようにする（昔はやっていた）。 ・ 広報の充実に協力する。 ・ 産業構造を再構築する。 ・ 働く場所を確保する。
	<p>行政の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人が少なくても幸せで安全に暮らせるようにする。 ・ 必ずしも人口減少を食い止める必要はなく、結婚や出産は個人の考え次第。 ・ 人口が減っても行政運営をできるベースを作る。 ・ 広報などで個人のルーツ探しを啓蒙する。 ・ 人口減少又は増加に対して財政面をしっかりと考え公表する。 ・ 交通網やライフラインを強化する。 ・ 車がなくても便利に生活できるようにする。 ・ 山林、農地の規制を考え直す。 ・ 市のHPなどで市の現状を多くの人に伝える（広報の充実を図る）。 ・ 飲食や雑貨販売の店を始めたいという人に起業のチャンスを与える（例えば学べる場を用意する）。 ・ 保育園・幼稚園の充実など子育てしやすい環境にする。 ・ 市が婚活パーティーを開く（出会いの場を作る）。 ・ 若者優先の視点で、若い女性（20才～39才）の意見を聞く場を設ける。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所 OB や現職職員の地域での活動を促す。 ・ 富津市のアピールできるものを強化する。 ・ 駅周辺の住宅は借地が多くなかなか購入できない。次の世代の定着を阻害している要因になっているので、行政が街づくりとして力を入れていく。 ・ 政府機能の一部を富津市に移す活動をする。 ・ 安心して出産できる病院や施設を準備する。 ・ 学校の児童数が減った場合、合併することも一つだが、交通面での支援もありうる。 ・ 転出、転入の理由や各地域の情報収集に努め、全市民の現状分析をする。 ・ 企業誘致奨励金の使い方を考えると共に、市内への移住を増す努力をする。 ・ 富津市は知名度が極めて低いので、人が集まるような場所を作り PR する。
	<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急に跡取りを強要せず幼い時から富津市の良さを話しておく。 ・ 若い人に市外から来てもらい、交流する事で出会いを作る。 ・ 長男の独り者が多く、家もあり職もありながら結婚相手がいない。 ・ 2014年9月の「第2の夕張」の報道以来、日本全国に「財政危機の富津市」のイメージが先行している。このようなイメージによって自ら移住してくる人は少ないのではないか。 ・ 富津市を知った人間は、富津市の良さ（自然の豊かさ、おいしい食べ物、安い生活費）を感じるだろうが、移住先として考えた場合、仕事や教育の面が移住へのインセンティブにブレーキをかける。

	<p>課題</p>	<p>転出者が多い（特に近隣市）。</p>
<p>改善提案</p>	<p>個人の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣3市の良いところを勉強する。 ・ 結婚を機に転出する現状を考える。 ・ 実家を大切にしていける事で子ども達に役割を理解してもらおう。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津市（実家）から市外の勤務先や学校へ通う。 ・ 実家、両親を大切に作る。 ・ 家に住まなくなった場合、市に届けることにより見回りなどの管理や貸家の仲介をする（不動産にも登録する）。 ・ 両親が亡って空き家になり、その後市外にいた子どもが住むようになった場合優しく受け入れる。
	<p>地域・民間の 取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域として魅力を作る。 ・ 若い世代が地域に残ることの重要性を伝え、地域の役割を与える。 ・ 通勤、通学を家から通えるようにする。 ・ アンケートをもとに転出・転入理由を考える。 ・ 県外転入者の転入理由をアピールポイントとして伝えていく（近隣市へも）。 ・ 近隣の人達が子どもの教育を分担する。 ・ 地域の環境を改善し若者が住んで楽しい生活環境にする。 ・ 就労の場を作る。
	<p>行政の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独身者であっても税制面や生活面において優遇する。 ・ 若いファミリーが何を求めているかなどアンケート調査を行い、原因分析し対策を考える。 ・ 財政不安をなくす。 ・ 交通の利便性を良くした上で整備し、自宅から通勤が楽しくなるようにする。 ・ 交通の利便性向上のため通勤、通学の現況調査をする。 ・ 学校教育（道徳教育）の充実をさせる。 ・ 一旦市を出て戻ってくる場合、税の補助やリフォームの補助をする。
	<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人それぞれの生活があるので仕方ない。 ・ 個人では何もできない。 ・ お墓のある故郷の家を売ってしまった場合、故郷にお墓だけが残る、立ち寄るところがなかったら寂しい。

課題		若い世代が少ない、転出している。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津市の良いところを宣伝する。 ・ 市に足りない部分を提案する ・ 自然の中での生活をアピールする。 ・ 仲間内同士で声をかける。
	地域・民間の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見守りに協力して、安全性を確保する。 ・ 「ニュータウン」の様に新しくきれいな分譲地を作り、子育て世代に家を建ててもらえるようにする。 ・ 草刈りなどコミュニケーションのとれる(美化)活動をサポートする。 ・ 都心の会社や学校に通いやすくする。 ・ 地域に出産年齢の方々の雇用を確保できる職場を創設する。 ・ 結婚して出て行かないよう、配偶者の勤め先を確保して家族で来てもらいやすくする。 ・ 出産後の女性も働きやすい職場を作る(保育所付きの職場など)。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市外へ出た方に、富津市に帰ってきたくなる施策を実施する(子育て支援、長時間保育、保育料の支援など)。 ・ 小学校、中学校の合併、スクールバスを走らせる。 ・ 子育てについての問題点を把握する。 ・ 転出した理由を把握する。 ・ 古い町並み、廃屋を一掃し分譲地を作りやすく整備する。 ・ スーパー、ファミレス、学校、保育園、小児科の充実、道路の整備、交通の利便性などの環境作りをサポートする。 ・ 女性の意見を聞く機会を増やし活かしていく(若いファミリー層へも意見を聞く)。 ・ 出産後の女性も働きやすい職場を作るといった条件に合う企業誘致などを行う。 ・ 何か家を建てたりした後の優遇を行う。 ・ 富津市の良いところを全国的にアピールする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の交通利便性を良くする（大型店舗廻りのバスは店舗に出させるなど）。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人それぞれなのでどうにもできないところがある。

課題		出生率が低下している。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代（子ども、若年世代）とつながりを保つ。 ・ 年を取ると子どもにお世話になる事を自覚し子どもを大事にする。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てしやすいコミュニティ作る。 ・ 若い男女の出会いの場を作る。 ・ 子育てと仕事の両立できるよう周囲がサポートする（地域の高齢者の力を活用）。 ・ 地域で子育て支援チームを作って応援する（あらゆる人材を使う）。 ・ 地域で子どもの見守りを行い、安心して子育てできる雰囲気を作る。 ・ 出産後の女性も働きやすい職場を作る（保育所付きの職場など）。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の働く場所を地域の中に用意する。 ・ 県内外の若い人（ファミリー層）へ転入促進する。 ・ アンケート結果を分析する。 ・ 婚活の仲介をする（結婚相談員を既婚の若い世代にする）。 ・ 生活環境を整備し魅力のある富津市にする。 ・ 出産後の女性も働きやすい職場を作るといった条件に合う企業誘致などを行う。 ・ 婚活のテレビ番組の誘致なども考える。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の生活スタイルには踏み込めない。

課題		人口ビジョンをより進化させる必要がある。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津市のビジョンに対し個々人が意識する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティの結束力を活かして人口が減っても協力し合えるようにする。 ・ 富津の魅力を知ってもらう。 ・ 地域でできる事を考え活動する。

	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口の目標よりも暮らしやすさを重視する。 ・ 将来人口の目標設定をもっと具体的に市民が理解しやすいビジョンにする。 ・ 人口 30,000 人で成り立つ行政を考える（数字上の展望だけは止める）。 ・ 広報を通じて市民に知らせていく。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口だけを増やす事を考えれば、外国からの移民を受け入れても人口は増える。 ・ 数字だけを追っていて中身が希薄。

(2) 結婚、子ども・子育て、若年世代

	課 題	子どもや子育て世帯とのコミュニケーションが不足している。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの子ども達に声を掛けるようにする。 ・ 親がわがままや常識とかけはなれたことを言わないようにする（行動をわきまえる）。 ・ コミュニケーションを大事にする。 ・ 子育て中の親子に声をかけてみる。 ・ 隣近所と関わり合いをもつ。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域みんなで子どもに声を掛けたり交流を行う（仲間意識を向上させる）。 ・ 親世代を教育する。 ・ 地域の中でダメなものは注意できる空気を作る。 ・ どこに子どもが住んでいるか知る。 ・ 公園の清掃をする。 ・ 地域としてコミュニティを作り、新住民が入りやすい環境を作る。 ・ 地域が中心となって「地元の子ども会、PTA、自治会、社会福祉協議会、行政など個人と各団体、組織のつなぎ役を担う。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者とコミュニケーションをとり、ニーズを聞く。 ・ 学校と地域の人と一緒に参加できる行事などの計画をする。 ・ 周辺の市町村と連携する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての人が目につくように情報発信をする（不安を与えない情報発信の仕方を考える）。 ・ ファミリーサポートの開設やそのPRをする。 ・ 困ったときの相談窓口を作る（ワンストップ化の中で）。 ・ 公民館などコミュニティ関連施設を開放する。 ・ 地域のコミュニティを把握する。 ・ 仕事を続けながら子どもを産み、育てていくのに必要な環境を最優先に考えていく。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て経験があるので答えられる（アドバイス）事もあると思うのでやはりコミュニケーションをとる事が必要。 ・ 親や祖父母世代はもう少し若い世代に配慮する。 ・ 公民館やコミュニティを開放しても知らない人がいるかもしれないので、広報活動が必要。

	課題	子どもや子育てについてワンストップで相談できる窓口がない。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口の存在など情報収集する。 ・ 市役所に子育ての総合受付窓口がある事などを伝える。 ・ 積極的に問い合わせや相談する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助けてあげられることは、皆で協力する。 ・ 高齢者から、若い人達に声を掛けてもらうようにする。 ・ 子育てしている人の仲間づくりをする。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊び場、子どもに関して何でも相談できる窓口、保育ができる総合的な場所を設置する。 ・ 各課が連携し分割されている業務の一本化を目指す。 ・ 地域の願いをサポートする（市民幸せ度を上げるサポート）。 ・ 学校関係や家庭相談が気軽にできる窓口にする（気軽に聞ける場所にする）。 ・ 仕事を続けながら子どもを産み、育てていくのに

	必要な環境を最優先に考えていく。
--	------------------

課 題		子育て世帯への情報提供が不足している。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が配っているサークルの冊子をきちんと読む。 ・ 仲間を求め触れ合うようにする。 ・ 意識を持って、子どもが参加できる場所を探す。 ・ チラシ・広報などの配布物や子育てしている家族とのコミュニケーションを図るなどアンテナをはりめぐらす。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声掛けなどをして情報を共有する。 ・ 年配者と子どもが遊んだり、作業を共にさせる。 ・ 地域が行政情報を伝えるパイプ役になったり、自治会行事・子ども会などへの参加を促す。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 君津にある、子どものコミュニケーションセンターのような場所を作る。 ・ 子育て関係のサークルや活動などを紹介する。 ・ 定期的に「子育てサロン」や学校では「家庭学級」を開催する。 ・ 市役所の空きスペースにキッズスペースを作る。 ・ 情報を身近に感じてもらうなど工夫をする（保育、幼稚園、PTA 会合などで発信）。 ・ 参加して口頭でお知らせするなどしてその世代の声を聴きだし、環境づくりをサポート。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事を続けながら子どもを産み、育てていくのに必要な環境を最優先に考えていく。 ・ 子育て世代、若年世代は 1 日の生活で手一杯だと思う。

課 題		子ども達の安全の見守りへの協力がさらに必要。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを見守る。 ・ 見守りなどの場があれば協力する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが遊びやすいように工夫する。 ・ 地域で見守りをする（高齢者の活用をする）。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学時に子ども達に危険がないよう、イノシシの捕獲をする。

		・ 子ども達を見守れる仕組みを作る。
--	--	--------------------

課 題		学校給食の食材や調理場所について検討の余地がある。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアできることはしたい。 ・ 子どもが何を食べているか、きちんと見ていく。 ・ 個人で獲れた野菜や魚を寄付する。 ・ 食材などを調べることに協力する。 ・ 告知に協力をする。
	地域・民間の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元野菜、お米を使う。 ・ 無農薬野菜を作っている農家から野菜を購入する。 ・ 食材の産地の公表やホームページを立ち上げることに協力する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食材の産地や含まれる食品添加物の種類などを HP などで公開する（ファミリー層を呼びこみたいならいいアピールになる）。 ・ 栄養士の質の向上を計る。 ・ 食生活改善推進委員の役割を見直す。 ・ 地場野菜などを使うと値段も安くすむと思うので検討する。 ・ 市の規則で「学校給食は無添加物食品・無添加物野菜を使う事と定めバックアップする。 ・ 学校給食の食品添加物の告知をする。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品添加物は何が入っているかを知りたいだけで、ダメなものを使用しているかを調べる為ではない。 ・ 食品添加物の公表など、栄養士さんの事務が増えるという事なので作業を私にやらせてほしい。 ・ 給食が良いと子どもも丈夫になる。

課 題		学童保育のない地域がある。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所の子ども達を気に掛ける。 ・ 日頃から声掛けをして交流を持つ。 ・ ボランティアとして協力する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学童という名目だけではなく、子ども達一人一人と関わるようにする。 ・ 町内のコミュニティ、集会所を利用できるようにする。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家の活用や定年をした人達と連携する。 ・ 市議や区長など地域の現状を知っている人達に協力してもらう。 ・ 隣近所の人々を巻き込み、遊び感覚で子どもと付き合うようにする。 ・ 預かる人を前職で保育士や先生をやっていた人や近所のおばさんやおじさんを採用しアルバイト賃を出す。 ・ 既存の老人福祉施設で子どもを見ることができるようにする。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育など可能な限り多く作る。 ・ 学童施設の設置基準などの条例改正などを検討する。 ・ 使用できる行政施設を提供する。 ・ コミュニティースクールを作る。

課 題		他市と比べて未婚率が高い。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族を増やすことに傾注する。 ・ 長男・長女に跡取りを強要しない。 ・ 出会いの場に参加する（紹介する）。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い男女の仲を取り持つ組織を作る。 ・ 出会いの場を作る。 ・ 地区単位で婚活委員会を設け活動をする。 ・ 結婚相談所の活性化を図る。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援を充実させる。 ・ 若い男女の出会いの場を近隣の自治体と連携して進める（市が婚活を行う）。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所に40代で長男、1人っ子で未婚の男性が6人もいます。両親と2人暮らしや3人暮らしで可哀そうです。

課題		若い人達が住みやすい環境になっていない。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域への愛着を持つ。 ・ 富津市の良い所を機会があるごとに話す。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人達が住みよい街作りをする（住宅団地造成、住宅建設）。 ・ 地区の代表者を中心にして新しく入ってきた人達を歓迎する。 ・ 隣の市に行った時に、富津市をアピールする。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育などの負担を減らす。 ・ 住宅ローン者には、その他の負担軽減策を考える。 ・ 富津市の良いところを全国的にアピールする。 ・ 情報を身近に感じてもらえる工夫を行い保育園、幼稚園、PTAなどで発信する。 ・ 若いファミリーが何を求めているか広く聞いてみる。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の活躍の場が少ない。 ・ 参加して口頭でお知らせするなどしてその世代の声を聴きだし、環境づくりをサポート。

(3) 産業

課題		観光地としての整備が不十分。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海堡を観光地とするため、国から払い下げるための署名運動及び寄付金集めなど協力する。 ・ 広報のポスティングなど、できる事はボランティアで協力する。 ・ ウィンドサーフィンの取扱店情報を共有する。 ・ 富津市の観光資源について、インターネットなどで発信をする（SNS）。 ・ 釣り、サーフィン、ジャンボプールなど知人に勧める。 ・ 県外の知人、友人に富津市の良さを宣伝する。 ・ 観光に来た人が良かったと思えるようにきれいな街づくりを意識する（美化する）。 ・ 海や山にゴミを捨てないようにする。
	地域・民間の取	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海堡を観光地とするため、国から払い下げるため

	<p>組み</p>	<p>の署名運動及び寄付金集めなど協力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地としての環境づくりや資金集め、清掃活動などに協力する。 ・ ハイキングやサイクリングの人のために、売店のような形で菓や軽食を安く提供する。 ・ 空き家レストラン、農家民宿、漁師料理が食べられる店など、富津市民が一般家庭で食べている新鮮な食材を使った店を作る（都会の人に喜ばれる）。 ・ マラソン、駅伝チームの誘致や受け入れをする。 ・ 自治会で美化運動をする。 ・ 地域で観光協会と話し合いができるようにし活性させる。 ・ 農産物、海産物などの物産店など作る。
	<p>行政の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海堡を観光地とするため、国からの払い下げができるように働きかける。 ・ 市の名物やそれらを食べる場所も少ないので地元の農産物、海産物を使った料理のレシピなどを募集する。 ・ 外国人観光客への案内を強化する。 ・ 観光地として企業誘致をする。 ・ 市内の観光地を自然と広さを活かした観光施設として整備する（清潔なトイレと自然でPR）。 ・ サイクリング用の自転車道を整備する。 ・ 富津岬周辺に東京湾で捕れる新鮮な魚料理専用で「保田の番屋」のような大店舗を行政と漁業組合が共同で設置する。 ・ 海水浴場など料金徴収することで磯遊びや磯での食事を検討する。 ・ ウィンドサーフィンの記事を広報紙に掲載する。 ・ 民泊やホームステイの制度作りを検討する。 ・ 農協や漁協、マザー牧場で取れた食材を一緒に食べるられる場所を作る。 ・ ジャンボプールのトイレ、更衣室をきれいにする。 ・ 富士山や日の出、日の入りプラス観音様と一緒に写真を撮れるスポットを造り、国内外の観光客を呼び込む。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設の行楽地を整備して家族が一日楽しく遊べるようにする。 ・ 富津公園でのマラソンの練習を安全にやりやすいようにする。 ・ 観光地として土産物店を増やす。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ おいしい食材が多いのでそれを使用したものを食べられる所が増えるといい。 ・ 定住ではなく、観光客が呼び込めるイベントなどを月に1,2度でも富津岬で大々的にやってみる。

課 題		担い手の高齢化、後継者不足などにより地場産業である農業、漁業が衰退している。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次産業従事者とのつながりを作る。 ・ 地場産業に関心のある人への呼びかけを行う。 ・ 実家・親戚の農業の経験を伝え残す(技術を継いでいく意識を持つ。) ・ どんな特産物があるか、どんなものが生産されているかを知る。 ・ 農業・漁業を見学したり、体験したりする。 ・ 企業などの契約農家になる。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者でも手持ち仕事をできる人が多いので地域で活躍してもらおう(小さな畑や貝むき)。 ・ 高齢者も地域で通える範囲で仕事をする。 ・ 地場産品を買い、地産地消する。 ・ 子どもや富津市に興味のある人、移住を考えている方などに体験や研修ができるよう協力する。 ・ これから農業に携わる人と、長年農業をしてきた人が話し合う場を作る。 ・ 地元の学校だけではなく、人の集まる場所(イオンなど)やネットで大々的に宣伝し興味のある人を受け入れる。 ・ 農業漁業の仕事に興味のある人の為に相談窓口を作る。 ・ 人手不足を援助する仕組み作る。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産だけでなく、地域の環境保全の観点で支援を

		<p>行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校で地元産業を学び、農業などを体験する時間を増やし、将来の職業先の一つとして考えられるようにする。 ・ 後継者がいなくて廃業を考えている人と新たに始めたい人を繋ぐ役割を担う。 ・ 高齢者の経験を農業団体などの活動に活かせる場を作る。 ・ 特産である海苔の学術的な裏付けの科学的調査をする。 ・ 若い人の興味を引くような活動をする。 ・ 地元に根付く仕事を作り、企業、工業誘致とは違う観点で作り出す方法を考える。 ・ 農業に興味のある若い人が増えているので富津市の環境を積極的にPRする（気候もいいし、水もいいし、素晴らしい土地である）。 ・ 地場産業や地場技術の保護と活性支援をする。 ・ 農業や漁業は意外と儲かるという事をPRする。 ・ 農協や市が個人と企業などの間に入り、契約農家として安定的に生産できる土台を作る。 ・ ふるさと納税の商品に〇〇さんの野菜といったフレーズをつけ、富津産の野菜をアピールする。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石川県羽咋市「ローマ法王に米を食べさせた男」高野誠鮮を参考にする。 ・ あおやぎ（バカ貝）むきができるのは全国で富津市だけだと思います（地場技術）。 ・ 袖ヶ浦は畑作の冊子を作成し図書館に置いている。農作物を使ったレシピを掲載している。

課題		農地が有効活用されていない
改善提案	個人の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地の活用の依頼があれば協力する。 ・ 農繁期はバイトで手伝いに行く。 ・ 可能であれば自分自身で自給生活を実践する。 ・ 企業などの契約農家になる。 ・ ふるさと納税の商品として出荷する。 ・ 市や学校に土地を貸し出す。

	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕田の貸し出しに協力する。 ・ 遊休地を意思のある人に委ね事業化させる。 ・ 会社で働きながら農業のできる環境にする。 ・ 休耕田を地域で管理する（高齢者の知識の活用）。 ・ 「半農半 X」プロジェクト設立する（農、海産それぞれの可能性の研究、検証）。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速 IC を中心に地区を決め、新たな企業誘致ができる場所を作る。 ・ JA と連携して民間参入を推進する。 ・ 地権者とコミュニケーションをとり、農地の規制を見直しする。 ・ 休耕田の情報提供をする。 ・ 自給生活ができる場所として特区の取得をする。 ・ 農地有効活用の担当職員を置いて富津市を選んでもらえるようにする。 ・ 「半農半 X」の PR をする。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 半農半 X の推進に当たっては、必ずしも自治体の支出を必要としない方法があり、または助成を必要とするばかりではない。無理をしない、自分のできる範囲での実践が原則なため、一年分の食料を自給できなくても、もっと少ない収穫でもいい。手植え、手刈、足踏み式脱穀機の自作を考えており、高価な機械と化石燃料の使用を想定していない（つまり、自治体の助成を想定していない）。

課題		農産物の特売所がない。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアで協力できることをする。 ・ 個人として、出店できる場所に参加していく。 ・ 特売所に出品する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設地域が決まれば歓迎し、清掃などみんなで協力する。 ・ 地域として場所の提供をする（特売所に出品する）。 ・ 地区でできないか区長達に提案をする。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅の建設を考える。 ・ 富津市内に富津の農業などで採れる特産物及び養殖海苔に付加価値を付けて販売する特産物販売店

		<p>を行政と JA が共同で開業を推進しインターネット及びパンフレットなどで広報する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富津ブランドを確立する。 ・ 観光アピールする（東京から買いに来てもらう）。 <p>富津市には特売所が一つもないのでバスストップができるのであればそこに一緒に作る。</p>
--	--	--

課題		各種経済団体（富津市商工会、富津市観光協会など）の活動が活発でない。
改善提案	個人の取組み	・ 各種団体が行事を実施する時は参加し協力する。
	地域・民間の取組み	・ 各種団体が行事を実施する時は参加し協力する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津市の発展の為に各種団体に協力する。 ・ 富津観光協会へは活動方針などを指導する。 ・ 商工祭、市の産業祭など他市に宣伝すべき。 ・ 民間企業と富津市が連携しながら社員を就労又は就労支援を一緒になって行う。 ・ 民間企業と富津市が連携しながら新たな仕事や産業を生み出していく。 ・ 熊本県天草市では市の職員に全日空（ANA）から戦略マネージャーとして派遣職員になり協働している。

課題		企業誘致の奨励金の在り方に問題がある。
改善提案	個人の取組み	・ 企業に雇用される個人のレベル向上が必要。
	地域・民間の取組み	・ 企業見学会などを地域で計画する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奨励金以外のお金の使い方を考える。 ・ 企業に地元の人への雇用をお願いする。 ・ 地元で根付く仕事作りを企業・工業誘致とは違う観点で作り出す。

（４）高齢者・介護・医療

課題		高齢化が進展している。
改善	個人の取組み	・ 高齢者世帯への声掛けをする。

提案		<ul style="list-style-type: none"> 行政や自治会の情報を収集する。 とにかく健康になり、病院に行かないようにする。 若年層を増やすもしくは出生率を高める環境を作る。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 各世代のコミュニティができるような活動や見守りができる環境を作る。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 予算をかけず、空き家を活用して若い人を呼び込む。 公園などの利用を無料ではなく、ベルマークや不要になった本、ハガキ、切手などを代金代わりに持参する（リサイクルで活用できるもの）。 日本版 CCRC（高齢者居住コミュニティ）を検討する。 高齢者が歩くだけでなく、公園で運動できる器具を設置する。
その他		<ul style="list-style-type: none"> 地元の高齢者は仏壇やお墓から離れられない事情があるかもしれないが、病院連携、転居型も考えて欲しい。 都市からの移住、自治体間の連携による成功例がある。

課 題		地域ぐるみでの高齢者の見守り、生活支援が不十分。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 介護など自分のできることを考え行動する。 自治会に加入していない人に働きかける。 近所に関心を持ちどのような人がいるか把握する（交流を密にする）。 挨拶や地域のイベントに参加する。 地域にいる高齢者の状況を知る努力をする。 身のまわりの事を手伝う。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 向こう三軒両隣との関係を良好にする。 地域でサポートできるような仕組みを確立する。 地域で声掛け、見守りをする。 一人暮らしの高齢者などに対し宅配サービスなどの利用を勧め配達員が生存確認するなど地域で気に掛ける。 高齢者にデイサービスなどの利用を促す。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者を町内会の役員にしないなどの配慮をして町内会加入を促す。 ・ 老人クラブの活動の活性化をする（お年寄りの集まる場所を提供する）。 ・ 地元の商店で移動販売や宅配を行う。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人で出かけることのできない高齢者への支援。 ・ 地域の声掛け運動などをサポートしていく。 ・ 緊急通報システム（ボタンを押すなどしての安否確認）などを整備。 ・ 地域差を少なくする。 ・ 一人暮らしの高齢者などに対し宅配サービスを斡旋する。 ・ 一人暮らしの人の実態を把握する（自治会役員やボランティアと高齢者の情報を共有する）。 ・ 防災支援の登録の推進をする。 ・ 高齢者の活動しているサークルを紹介する。 ・ 高齢者向けの散歩コースを作る。 ・ 町内会に入るメリットとして、見守りがあることを伝えていく。 ・ 地区の社会福祉協議会と協力する。 ・ CCRC 計画を大学・専門学校のキャンパスに誘致する。 ・ 現在実施しているシステムを更に改善し老後の安全、安心に寄与する。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単身生活の高齢者でも自宅で生活できた方が健康でいられると思うので皆が少しの支援と気使いをするといいと思う。

課題		高齢者が交流、活動する場が少ない。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の得意を活かせるものを探す協力をする。 ・ 周囲の住民とコミュニケーションをとる。 ・ 近所の人や高齢者に昔の事や遊びを積極的に聞く。 ・ 元気な方は出来る仕事をする。 ・ 既に高齢者エリアになっている区の行事も参加で

		きる所は参加する。
	地域・民間の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもとふれあう場を作る。 ・ 地域行事に講師として招くなど、高齢者の得意分野を活かせる仕組みを作る。 ・ 農作業や祭り事（しめ縄づくり）などを教える場を作る。 ・ 集会所が利用できるよう検討する。 ・ 昔から続いている行事を絶やささない。 ・ 富津市型 CCRC の勉強をする
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートを実施し、公民館などに高齢者が参加できる教室を設ける。 ・ 場所の提供や無料バスの手配などをする。 ・ 高齢者の活動の促進や紹介をする。 ・ CCRC 計画を大学・専門学校のキャンパスに誘致する。 ・ 高齢者の仕事などを照会する。 ・ 一地区、一行事を開催するよう促す。 ・ 広報紙だけでなく高齢者目線で情報を提供する。

課 題		高齢者の買い物が不便。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所で助け合う。 ・ 高齢者に新しい情報を伝える。
	地域・民間の取 組み	
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティバスを運行する（現在の市のバスが通っていない場所）。 ・ バスをスーパーに停車できるようにする。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物など今車で行くのですが、運転できないようになったら困る。

課 題		病院が少なく場所が分かりにくい。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分からインターネットなどで場所を調べる。 ・ 困っている方のバスの乗り降りの手伝いをする。
	地域・民間の取 組み	

	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内にある病院の救急当番を増やすようお願いする。 ・ 病院マップを作る。 ・ バスの巡回を依頼し各病院(科)の時間別診療を受けられるようにする。 ・ 病院を誘致する。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧佐貫中跡を利用して 127 号線上に大佐和分院ができていているといい。

	課 題	(幼児も含めて) 夜間医療がない。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人で考えるのではなく、みんなに聞いてから病院へ行くようにする。
	地域・民間の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの人がいつでも相談にのってくれる様にコミュニケーションをとっておく。 ・ 退職医師に相談にのってもらう。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような病院があるか周知する。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政は初めからダメと決めつけてやる気がない。

(5) 魅力・シティプロモーション

	課 題	富津市の魅力をアピールできていない、富津市が知られていない。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津メロンを土産として送る。 ・ SNS で情報発信する (観光・グルメ・景観)。 ・ 市外の人へ話をして伝統的なお祭りなどに参加してもらう。 ・ 海山や美しい富士山が見えることを都会の人に伝える。 ・ 釣り客と交流を深め、富津市を PR する。 ・ 陶芸家、画家などの紹介をする。 ・ 富津の良さを自ら発見して PR していく (出会いも含めた PR)。 ・ 地域の現状を知る。 ・ TV で富津市が放送されたりしたら意識して観る。
	地域・民間の取 組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事の発信をする。 ・ 市内のコンビニを情報発信の拠点にする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊び場マップを作る。 ・ 地域の中で良いところを相互に共有する。 ・ 歴史を見直す（古墳や海堡など）。 ・ 地域をあげて知名度UPに協力する。
	<p>行政の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリンスメロンの宣伝をする。 ・ ポスターやアンテナショップでPRする。 ・ ホームページを見直し情報発信を強化する。 ・ 全国的に地域行事を発信する。 ・ 市外から富津市役所に就職した職員が富津市の名所、魅力を体験談として発信（SNSを利用して）。市職員の活躍の場を設ける。 ・ 芸術家に対する空き家の提供や税の優遇をする。 ・ 観光バス誘致など、民間へ情報提供する。 ・ 自然の豊かさを生かして環境に優しい町作り、自転車に優しい町作りをする。 ・ 都市化する必要はない。 ・ ご当地ナンバーを作る。 ・ 学校で教える（横浜市では横浜市史を小学校の授業に盛り込んでおり、地域愛に繋がっていた）。 ・ ロケ地やPVなどに土地が多いのに行政は何も動かないのでもう少し関心を持つ。 ・ 富津市の自然豊かな海山は市の財産なので、これを将来守っていくために積極的にPRする。 ・ 既設の行楽地を整備して家族が一日楽しく遊べるようにする。
	<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業とも通じるが、自然で農業を行いたい人を誘致してその活動などPRしてはどうか。 ・ 住めば都をアピールする。 特別に「これ！」とアピールできる目玉のない富津市だが、一方で私（富津市在住6年目）や花田虎上氏のように、富津市に引っ越してきて本当に良かったと実感している者もいる。住んだ人間は言葉にできない魅力を感じている様は、まさに「住めば都」そのもの。この点のアピールするものは一つの方法と考える。

課 題		富津市の特徴が活かされていない。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野生動物が近くにいることも魅力の一つとして暮らす。 ・ 海、山、田んぼの魅力を活かす。 ・ それぞれ土地の特色を活かした生活をする。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地を都会の人に開放して農業従事の推進策として考える。 ・ 地域ごとにコミュニティを作る（コミュニティに入りやすいようにする）。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外に向けて定住や豊かな富津の自然をPRする。 ・ 前例に縛られないようにする。 ・ 野生動物との出会いが楽しめる里山暮らしといった売り方をする。 ・ 地区別にビジョンを考えていく。 ・ 市街地と田舎の2極化をプロモートする。 ・ 田舎のそのものを武器にする。

課 題		行事や団体の活動など、市の情報を得る機会が少ない。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市のHPや広報紙を見る。 ・ 自治会に入る。 ・ 自分が知った情報は家族や周囲に伝える。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア、協賛などで行事に参加。 ・ 地域住民の行事開催時に情報交換する。 ・ 行政に協力する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 告知の方法を改善する（時期・場所・回数など）。 ・ イベントスケジュールの作成をする。 ・ 宣伝や企業の人材募集など情報提供する。 ・ 転入者に自治会の紹介をする。 ・ 図書館などで広報をする。 ・ 広報紙を見やすくする（子どもの絵を載せる）。

(6) 地域

課 題	地域によって自治会活動が少ないところがある。
-----	------------------------

改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的に地区行事や公園のごみ拾い、草取り、生垣の手入れなどに参加する。 ・ 自治会の活動を知る。 ・ 地域住民に公園をきれいにしよう働きかける。 ・ 自治会役員の方の話を聞いてみて少しでも参加してみる。 ・ 自分で出来る事をする（無理はしない）。 ・ 自治会について理解してもらえらるまで説明する。 ・ 回覧板をよく見る。 ・ 竹岡地区の楽しい事が続けられるように努力していきたい。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3か月に一度くらい区長との会合をもつ。 ・ 老人ホームの方々や保育園児、小学生などみんなが楽しめる環境を作る。 ・ 自治会の行事などを大きく宣伝する。 ・ 自治会の良さを伝えて協力してくれる人を増やす。 ・ 自治会同士の横のつながりを展開してコミュニティを広げる。 ・ 地域内公園のごみ拾い、草取り、生垣の手入れなどを当番制で実施する。 ・ 区費でベンチなどを寄付する。 ・ 地域に引き込もっている住民と関わりをもつ。 ・ 自治会に参加しやすいように「ライト会員制度」を作る。 ・ 自治会に入っていない人も参加できるような行事を作る。 ・ 目標を掲げて指導者を立てる。 ・ 小規模でも子どもから老人まで一緒に運動会をできるようにする（昔はやっていた）。 ・ 区長が各役員の見解をとりまとめ決定した年間行事を回覧し各家庭に周知する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区長が自治会を進めやすいよう協力する。 ・ 自治会の活動や仕事を整理する。 ・ 富津市内にある公園の管理方法を見直し、外注管

		<p>理を削減し、地域で管理できるようにする（経費削減・公園を大事に使用する）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と住民を繋ぐ窓口になる。 ・ コミュニティのあり方の見直しする。 ・ 区割りの見直しをする（世帯数や年齢を考慮する）。特に青木地区は大き過ぎる。 ・ 他市、他県のコミュニティの活動を紹介する（見習えることを見習っていく）。 ・ 自由参加の行事を宣伝する（ネットや広報紙などを活用する）。 ・ 地区の良い活動を市がPRする。 ・ 補助金（補助的役割）が必要。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ いつ自治会の行事が行われているのかよくわからない。 ・ 地区によってコミュニティの力が違うと思うので（世帯数、年齢）できる事には違いがある。 ・ 遊びや学びを通じて、子育て相談のできる場を随時作り活用する。

課題		転入者受け入れ体制や新旧住民間の交流が不十分。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に根付いた活動に参加する。 ・ 自治会に加入するメリットを理解する。 ・ 転入者に対して区の説明をする。 ・ 毎日挨拶をして会話をする。 ・ 集いの場で地域の知らない部分をPRする。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲も巻き込んで活動に参加する。 ・ 区全体で協力する。 ・ 自治会の役割やメリットがわかるようなマニュアルを作る。 ・ 転入者に対して地域ごとに声掛けをする。 ・ 地域の集いの場（祭りなど）を新たな視点で見直す。 ・ 自治会のあり方（入りやすい状況）について話す機会をもつ。 ・ 同趣味を共有できる地域を作る。

	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動、イベントなどの紹介しアピールする。 ・ 転入者に対して地域の説明をする。 ・ 地域特性を活かした取組みを推進する。 ・ 転入者に対し地域の特徴を説明し区長を紹介する。 ・ 同じ趣味を共有する仲間を集めて活動していることをPRする。
--	--------	--

課 題		自治会の活動内容がわかりにくい、参加意識が低い。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは自らが積極的に参加してみる。 ・ 近所の人や会社にいる地元の人に話を聞く。 ・ 市役所に出向いたりインターネットで情報を集める。 ・ 自治会に参加できるところは参加する。 ・ 自分が役員じゃなくてもお祭りの手伝いや公園の掃除に参加する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の活動としてPRする。 ・ 入ってきた人を巻き込む環境作りをする。 ・ 孤立した環境でも住みやすい地域作りをする。 ・ もっと気楽に町内会の行事に参加できるようにする。 ・ 自治会の運営要領を作成しオープンにしていく
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会のメリットを転入時にPRする。 ・ 自治会の情報を把握する。 ・ 掲示板を人目に付きやすい場所に出す（コンビニに広報紙を置く）。 ・ これだけはやってほしいといった内容を決めて区長研修を行う。 ・ 区長さん同士の情報交換できる場を作る。

(7) 生活環境

課 題	暮らしやすい環境づくりについて工夫の余地がある。
-----	--------------------------

改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都会の生活を標準とせず地域に根を張って生活し、地域の為になっている誇りを持つことによって生きがいを感じるような雰囲気作りをする。 ・ 不都合な真実から目をそらさないようにする。 ・ 家の前や周辺道路などは個人で清掃する。 ・ 不便でも自然と暮らせる喜びを感じる。 ・ 昔の生活に戻ると思っ楽しむ。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町境の雑草は地域で清掃する。 ・ 世代間で意見交換し、若い人の意見を取り入れるようにする。 ・ 60代、70代前半の人を活用して少し賃金を支払って活躍してもらおう。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津市の将来ビジョンを市民にきちんと記し理解してもらおう。 ・ 四季を通しての魅力を発信する。 ・ 人口多い所（大堀地区 etc）は下水道整備を行い、それ以外は浄化槽設置を設置する。 ・ 税金などを近隣より少しでも安くするなどの策を講じる。 ・ 道路の狭い地域など区画整理する。 ・ 新しく転入して来た人や、アパートに住人にも溝掃除やゴミ拾いに一緒に参加してもらおうよう働きかける。 ・ 富津市の将来ビジョンを定量的にきちんと示し理解してもらおう。

課題		ごみの出し方、集積場所の管理に改善の余地がある。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ出しを日々チェックする。 ・ 分別を今以上にする。 ・ 各地域やグループのルールを必ず守る。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方は、お互いに話せるようにする（誤ったごみであれば注意する）。 ・ 地域でも分別と減量をPRする。 ・ 地域住民でお金を出し合って設置したものは、それ以外の人には利用できないようにする（ゴミステーションにカギをつけた）。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸に落ちているごみは曜日など関係なく集めて

		<p>処分する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミステーションの管理を協力する。 ・ 回収場所を定期的に点検する。 ・ 回収できない物品を徹底的に周知する。 ・ 分別、減量のPRをする。 ・ 市役所、公民館に古紙、ペットボトルキャップ回収箱を設置する（市役所に足を運んでもらえると思います）。 ・ 市内で使えるポイントを作り、そのポイントは市内で使える使用期限付きの商品券にする。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベルマーク、ボトルキャップは学校以外の回収場所が分からない。

	課 題	近くに買い物をする場所が少ない。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津市内の商店の利用を心がける。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週に目玉商品などをチラシなどで紹介する。 ・ 大手スーパーに依頼して、週に一回くらい佐貫の方を廻ってもらうよう依頼する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ どこにスーパーがあるかなどを回覧板でお知らせする。 ・ 大手スーパーに地方配達してもらえるようにするなど依頼する。 ・ ファミレスや大型店を誘致する。 ・ 市内に中心部を作る。

	課 題	富津市地域振興券が活用されていない。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入して使用する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用する人、利用できる店舗のモチベーションをあげる。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的に魅力発信する。

(8) 公共施設・公共交通

	課 題	公共交通網が不便。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速バスターミナル設置の各区長署名を集め市長に提出する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速バスターミナル設置及び JR の複線化に関し協力する。 ・ バス、電車を利用する。 ・ 通勤可能であれば、富津に住んだまま通勤する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR の複線化については市民より嘆願書を付けて要求する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 君津以南の交通の便を良くする。 ・ 高速バスターミナルは具体的な実行計画を提示する。 ・ ワゴン車による巡回バスの設置（オンデマンドバス）。 ・ 高速バスは停留所に買い物ができる場所があるといいので、富津イオンにバスターミナルを設置する。 ・ 高速ターミナルの設置及び青堀駅までの複線化を最優先に推進する。 ・ 高速バスストップについては 4 車線化工事に合わせてという事だったがその周りに道の駅を作るなどの環境を整える方が必要。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速バスストップの設置は必要ない。見直すべき。 ・ 車なしの環境は考えられない。

	課 題	公園が利用されていない。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園があることに目を向ける。 ・ 公園をきれいに使用する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植木伐採の協力をする（下刈りと草刈りをする）。 ・ 地域で公園利用を推進する。 ・ 地域に呼び掛けて目を向けてもらう。 ・ 植栽を行う。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津公園内にキャンプ場があることを伝える。 ・ 明るくて綺麗なトイレ（館山市のような）にする。 ・ 利用制限を緩やかにする。 ・ シルバー人材センターなどを活用して、公園などにあるドアなど、修繕が必要な個所を修理する。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広すぎるので保護者が付いていく。

	<ul style="list-style-type: none"> 一人では入りにくいのでは困る。 公園に入るのが怖い。
--	---

課 題		施設の活用・設置が不十分（図書館、墓地、自由に使える拠点施設）。市役所、防災センターが立派すぎる。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 活動する場を探し把握する。 墓地建設で行政からの要請があればボランティアで協力する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 施設を拠点にして活動を共有する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 立派な市役所の建屋がちゃんと使われていない気がするので空きスペースを図書館（図書室）にする。 市役所横のレストランを BookCafe にする。 公共施設の利用状況を発信する。 墓地建設を検討する。 市役所の空きスペースにキッズスペースの設置や市民グループの貸出しなど市民に開放する。
その他		<ul style="list-style-type: none"> 当市には市営墓地がないので建設を計画すれば永住も UP する。

（９） 市政運営

課 題		より利用しやすい市役所、相談しやすい窓口にしていく必要がある。職員の意識改革も必要。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 行政について知らない人がいたら自分の知っている範囲で教える。 回覧板などを良く理解する共に市議会に傍聴参加して市政運営に協力する。 自分の私利私欲で議員を選ばない。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 市役所と地域が連携し情報発信する。 行政機関の業務に関心を持つ。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 市役所の業務を今まで以上に PR する。 市でも「すぐやる課」を作るなど市民に向き合った体制にする。 行政の風習や習慣を変えることから始める。

		・ 市長をはじめ行政がリーダーシップをとる。
--	--	------------------------

課 題		財政状況が悪い。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の健康管理に気をつけて、税金のお世話にならないようにする。 ・ 要望書などの署名の依頼があったらその内容が本当に必要かを考える。 ・ 学校に寄付できるようベルマークを集める。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働ける人はしっかり働いて税金を納める。 ・ 当然の事だが要望書の署名の強要はしない。 ・ 学校に寄付できるようベルマークを集める。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベルマークをまとめて学校の財源の一部にする。 ・ 市議会議員の報酬を半分に下げる。 ・ コストダウンを意識する。 ・ 大規模な公共事業の計画時は市民に意見を聞く。 ・ 企業を呼び込み法人税収が見込めるようにする。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政施策を柔軟に考えて欲しい。 ・ 役に立たない市議会議員を早く辞めさせる。 ・ 第 6 回市民委員会の第 4 分科会で、島根県での半農半 X の支援事例が紹介されていたが、島根県の半農はあくまでも生業としての農のようである。これに対して、私のイメージしていたものはもっと小さい農であり、特に私自身が取り組みたい半農半サラリーマンは頑張らない農との付き合い方であるため以下のような特徴がある。 最初は米、慣れてきたら大豆と徐々に広げていくため、周辺農家のちょっとした助言があれば良いため畏まった研修を必要としない。

課 題		市民委員会の成果、他の会議（子ども子育て会議）との役割分担が不透明。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民として出来る努力をし、富津市をよくするアイデアを考える。 ・ 子ども子育て会議の考え方を理解する。

	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域の区長や市議との話し合いの場を設ける。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 富津市民委員会で取り上げた内容の一つでも実現させる。全てできないという事はないようにする（アリバイ作りにはならないように）。 事業仕分けの結果もしっかり次に繋げていく。 2つの会議の資料を両方に公開してほしい（情報の共有をする）。 市議会と市民とのパイプ役をする。 各居住地区によっての問題比重の違いを公平に討議するため農村や漁村、新宅地区など各地域（中学校区別など）で改善を提案し、行政と政策の方向を考えながら各地域をつなげる役目を担う。
その他		<ul style="list-style-type: none"> 模擬仕分けの定住政策の廃止（今年度はもうやらないと説明していたが、8月号の広報にはまた募集の記事があったため）。 行政として市民委員会での出た課題が出来ないなら出来ないで仕方がないが、十分に討議したうえでの結果であってほしい。会議で話したことが没にならない事を祈る。 事業仕分けの結果を28年度予算に反映させる。

(10) 移住促進、受入、定住

課題		転入者が少ない。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 他市の知り合いに移住を促す。 地域に新しく転入してきた人や市外の人に自然や生活のしやすさをアピールする。 市外で富津市の良さをPRする。 別荘地の人と交流することで、住んでもらいやすい環境にする。 別荘地の人にも、趣味などでつながりを広げる。 転入希望の方に良いアピールが出来るようにする。 地域及び富津市のイベントなど移住して来た人に優しく教える。

	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家の有効活用をする（近隣市と比べると賃貸住宅の供給量が少ない）。 ・ 地域で住んでもらう場所を決めて定住者を迎え入れる。 ・ 市外の人に住み良さをPRする。 ・ 空き家の確認や報告を出来る範囲で行う（個人情報の取り扱いは注意）。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国に富津市の土地や人、自然を知ってもらえるようPRする。 ・ 市外の方とコミュニケーションとり定住を促していく。 ・ 調整区域など土地利用を見直す。 ・ 全国に富津市の良い所をPRすると共に宣伝のグラフィアを作る。 ・ 市営住宅のメンテナンスを行い、安く貸し出す。 ・ 転入希望の人にしょうかい紹介できる資料を準備する（フェイスブックなども活用する）。 ・ 自然の強みを具体的に考えていく。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 減少してもかまわない。周りの顔がよく見えるので挨拶するなど関係を密にする。

課題		外国人を含めた転入者の受け入れが不十分。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転入者になるべく溶け込めるように接する。 ・ 外国人の研修生・実習生の日本生活の支援（日本語教室）をする。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティの役割を強くする。町内会の区域割を明確にして移住者の不安感を減らす。 ・ 馴染んでいない転入者に情報を伝える
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人移住について積極的に考える。 ・ 研修生・実習生の実態を把握する。

課題		移住希望者（予備軍）への相談体制やPRが不足。
改善提案	個人の取組み	
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の人や移住した人がやっている活動をPRして興味のある人が参加できるツアーを行う。

	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津市の良い所が分かるカレンダーを作る。 ・ 多くの人が集まる場所にパンフレットなど PR できるものを置く。
--	--------	--

(11) 安心・安全

課題		避難場所、備蓄倉庫の場所がわからないなど地域の防災体制が不十分。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に訓練などに参加する。 ・ ハザードマップや防災倉庫の場所をチェックする。 ・ 近所の人と顔見知りになる。 ・ 自分で下見をして避難できそうな場所を考える。 ・ できる限り備蓄や防災用品を備える。 ・ 家族間での安否確認の仕方や共通の避難場所の確認をする。 ・ 自助に努める。 ・ 自然を大切に育てる意識を持ち、伐採などの影響で災害が起こらないように土地を守るための活動に参加する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練などの年間の計画を作り地域で避難訓練をする。その際、防災倉庫の情報を共有する。 ・ 普段からみんなで声掛けをする。 ・ 地域で避難場所を確認する。 ・ 必ずしも市で決められた場所が安全とは限らない事を認識する。 ・ 倉庫の中身を確認する。 ・ 共助に努める。 ・ これ以上、山がなくならないよう災害の少ない土地を守るための活動をする。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治防災組織の加入率 100%を推進し、自主防災活動及び防災知識の普及を区長単位で推進する。 ・ 防災情報を提供する。防災倉庫マップを作る。 ・ 防災の日だけではなく、年数回呼びかけをする。 ・ 安心して釣りが楽しめるように、堤防、波止場に防災グッズを設置する（ロープや浮き輪など）。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 山川海の保護活動、地元美化に興味を持たせる。 ・ これ以上、山がなくならないよう災害の少ない土地を守るための活動をする。
--	--	---

課 題		地域ぐるみの防犯対策が不十分。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、大堀二地区内で実施している、防犯訓練及び防犯パトロール、交通安全指導を今後も継続すると共に拡大するよう努力する。 ・ 防犯パトロール及び交通安全に参加し子ども達を大人が守る。 ・
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ぐるみで連携し防犯意識を高めあう。 ・ 大堀二地区での活動の全区での実施を検討。 ・ 区単位で防犯パトロール隊を編成し活動をして抑止力を高める。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富津警察署の生活安全課が推進指導をするように行政が働きかける。

(12) 空き家・空き地

課 題		空き地、空き家を現況把握や有効活用が不十分。
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家の把握と情報の行政への伝達。 ・ 使用していない土地を手放す。 ・ 空き家・空き地があれば協力を促す。 ・ 民泊できる空き家の情報提供をする。 ・ 家に住まなくなった場合、市に届けることにより見回りなどの管理や貸家の仲介をする（不動産にも登録する）。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他から来た人を気持ち良く受け入れる。 ・ 空き家の状態を調査・把握する。 ・ 空き家マップを作る。 ・ 帰郷して市に住所を移して住むようになった場合、税の補助やリフォームの補助をする。 ・ 空き地、空き家の実態を把握し区長が行政に連絡する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家を使った観光資源の開発に力を入れる。 ・ 空き地を利用した企業誘致をする。 ・ 空き家、空き地の状況把握をし、持ち主と交渉をし

		<p>てホームページに掲載していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調整区域の見直しをする。 空き家や別荘を活用しての二居住政策を進める。 民泊やホームステイが事業としてできるか法律などを確認し情報発信する。 危険な空き家は撤去する。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 転出者の両親が亡くなり誰もいなくなった場合、その後親族が帰郷して住むようになった場合（住人）優しく受け入れる。 お墓のある故郷の家を売ってしまった場合、故郷にお墓だけが残り立ち寄るところがなかったらさみしいものです。

(13) 仕事

課題		雇用の受け皿が不足している。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地場製品の加工業務などに地元の人を雇用する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地場製品を活用していく。 地場製品を加工して付加価値をUPし販売する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 病気や介護など、Uターンした人の雇用の受け皿を考える。 仕事環境の紹介をする。 都市部に比べて、地代が格安な富津市を売り込み自宅で仕事ができるIT技術者やコンピューター関係で仕事をしている方々をターゲットにPRする。 求人と求職のニーズを調査する。

(14) その他

課題		個人、地域、行政の間で情報共有ができていない。
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 自分の持っている情報を活用する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 良い情報を地域に還元させる。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 市民々の優れた知識や能力を取り入れ活用する。 行政では大きすぎるので、自治会では情報共有できる。 自治会（子ども会、PTA）、社協、市議、民間企業（漁

		協、農協、観光協など) など横につながる組織ができることを望む。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き市民委員会を行い、今回の市民委員会に参加したくてもできなかった人でも参加できるようにしてほしい。 ・ 自治会（子ども会、PTA）、社協、市議、民間企業（漁協、農協、観光協など）など横につながる組織ができることを望みます。

(15) 自由記載概要

- ・ 高齢者の方だけではなく、母子家庭や外国の方など困っている人も見守られたらいいと思う。好きか嫌いかに関わらず、近所の人力を借りなくはいけない時がある。借る必要ができた時に気持ちよく助けを求めたい。自分もできることがあったら手を貸したい。自分があまりにも考えが足りなくて参加したことに後悔をしたこともありますが、勉強になりました。やってよかったです。ありがとうございました。この会をこれからの富津に役立ててほしいです。
- ・ 市民の意思、意向様々あると思いますが、より良い地域、市にするべく、行政に努力をお願いします。市民委員会は市民の声を吸い上げて、実現できる所から実行をお願いしたい。住民側も住民としてできることを努力していきたいと考えています。
- ・ 竹岡は「竹岡を愛する会」や「竹岡文化協会」など地区を良くしアピールしていこうとしている会があります。新しく、転入されてきた方(希望者のみ)に特技を持つ方がいらしたら、発表の場を作るようにしたい。
楽しく暮らすためには、コミュニティが必要であるので地区の行事を大切にして、地区の歴史を知り後世へ伝える。石碑の意味を探る。
- ・ 個別の課題として
 1. コンパクトシティ化を目指す(人口減少に対する戦略)。若い人を引き付けるには、多機能集約をさせにぎやかな場を設ける(街中に医療介護や保育園その他それに関係する産業や機関)。それによって財政負担の軽減働く場所の確保ができる。
 2. 地場産業の発展、生産・加工・販売の一本化。
 3. 熟練者・特殊技能者(スキル人材)の育成、確保(優秀な人材が都市部に出て行ってしまう)。引退したスキル人材に地元に戻ってきてもらう。
 4. 現世代より次世代優先といった、座標軸にのっとった戦略。

5. 高齢者同志は助け合い。都会人であろうが田舎人であろうが人生経験はさほど変わらない（まずは近隣から）。
- ・ 何より行政のアピールが不足している。全国に向けて普通的手段（広報紙やHP）じゃなく市長を先頭に市民を巻き込んでアピールしていき、今月の富津を他県にアピールする。新舞子の周辺は別荘がどんどん建っているのは魅力を知って住んでみたいと思う人がいるはず（有名人も別荘を買って、地元の人達と交流したりしている）。数年前から、7世帯が近所に引っ越してきたがやはり人からの口コミで転入してきていたしので、周りの人達も時々声掛けをしています。
 - ・ 人口の増加を3万人とか3.5万人にするのではなく交流人口を増やす事に繋がれば良い（下記参考例1~5）。
1. 八丈島の例では「八丈島 JAZZ フェスティバル」として小中高生が第一線のプロミュージシャンと共演して八丈島のPRと島民の協調に繋がっている。
 2. 船橋の「ふなばしアンデルセン公園」は市営ですが「アジアの人気テーマパーク」の10位に選ばれている。
 3. 県補助ドラマの第1号に館山市が立候補して採用されPRになっている。
 4. オリンピックのキャンプ地を誘致する。
 - ・ 予算は市議の定数を3人減らせれば2千万円捻出できる。
 - ・ 観光協会や農協など、市民一本で作り上げる（例 花火大会）。
 - ・ 観光のスポットたくさんあるのに、外への発信があまりないので、もっと外に発信すべきである様に思う。先日金谷がテレビに出ていて今はその場所は口コミで大変混み合っているようです。そういうきっかけをもっと利用しても良いのではないのでしょうか。
 - ・ 「子どもの貧困」を改善すべく、民間のサポートを活用して、学習面をサポートする。個人的に述べさせていただくと、現在学習塾を開いていて里親でもある。経済的に困っている家庭があったら市のサポートで（市で困っている家庭や学習低下児童を紹介する）援助できる。また、「学童保育」との抱き合わせても可能である。財政面で予算がどうのと言う前に、‘気持ち’のある市民の活用を考えて欲しい。「人口ビジョン」を前面に掲げるものだったら「子どものための教育」と「子どもの幸福感」や「子どもの幸福度」が重要であると考えます。
- 場所の提供者もありボランティアもいるので活用すべきである。
- ・ 市議会議員を減らす。
 - ・ 人口が減少していくことは避けられないので、昔の古き良き日本の暮らしを再度確認し地域のコミュニティを活かして、助け合いながら生活をしていく

必要があると思います。市街地には市街地の田舎には田舎のそれぞれの暮らし方で行政が少し背中を押せる市が、これからの富津市には求められている気がします。行政が担うインフォメーションの部分は非常に重要だと思う。

- ・ 千葉里山カレッジのようなものを開いてはどうか。山林を持っている人の管理の仕方や整備の具体的方法がわからない。山の荒廃、地滑り、土砂崩れの防止にもなる。募集のみ。教材などは実費とする。
- ・ 事業仕分けでは、第4分科会でのテーマの8月1日が「中小企業資金融資対策事業」を含む5案件が「要改善」の評価、8月2日が「公用車管理事業」を含む7案件が「要改善」で合計12案件全部が「要改善」の評価ですのでこの結果に対する意見交換があってほしかった。

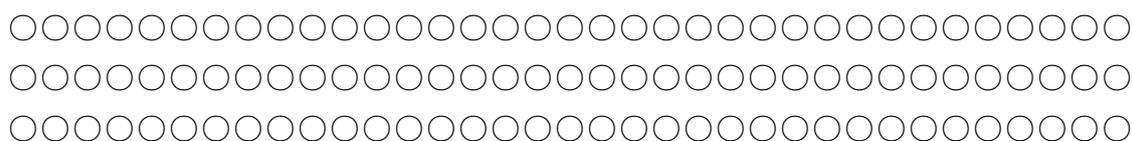
事業仕分け自体は、市役所内部の課題を市民に公開し、改善する姿勢を自ら示した内容なので大いに評価できると思います。

2040年に「3万5千人」人口を確保するビジョンも大切だが、人口減少するために税収が減り財政再生団体に転落するという危機感から考えると、財政の確保と経費の削減が不可欠だと思います。

- ・ 行政から市民への政策活動も事前に委員会へ報告する。
例えば、行政から市民へのアンケート実施や地域振興券の配布の仕方などその際、市民のアイディア、意見を取り入れ実施する。
- ・ 総合戦略計画期間 27年度～32年度、アンケートや意見を伝える、考える。行政からのアンケートなど配布、改修、現状の説明、参加を促す。富津市づくりに必要なアンケートや意見をできるだけ多く得る。定期的にこれからも市民の気持ちを汲み取るようにする。親、子（高校生）への図書館アンケートを配布したようですがアンケート内容（2部）同じもので高校生には難しいと言っていました。高校生が記入しやすいようにアンケートの工夫をお願いします。

市の職員も無記名でアンケートや意見も。総合戦略に関して市民と同じアンケート実施してほしいです。

4. 最後に



○第3回会議 平成27年8月27日

テーマごとでの議論、「改善提案シート」の記入提出。

○第4回会議 平成27年9月23日

テーマごとでの議論、「改善提案シート」の記入提出。

○第5回会議 平成27年10月16日

テーマごとでの議論、「改善提案シート」の記入提出。

○第6回会議 平成27年11月8日

テーマごとでの議論最終、「意見提出シート」の記入提出。

富津市民委員会 ※名簿記載予定

第1分科会

座長
委員
委員

第2分科会

座長
委員
委員

第3分科会

座長
委員
委員

第4分科会

座長
委員
委員

構想日本

コーディネーター・ナビゲーター

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・